（一）昭和25年7月6日第三種郵便物認可　磐城毎日新聞　昭和25年(1950)8月23日（水曜日）第80号【日刊・月曜休刊】

磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市南町
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一一二〇番

土木建築請負
磐城土建株式會社
社長 強口唯七郎
平市小太郎町
電話五九番

縣下の被害を重大視

衆議院災害調査團 濱三郡を視察

福島縣下に於ける過般の洪水による災害は四億五千万圓と見積られて居り、これが對策については縣當局は勿論、中央に於ても重要視され、衆議院水害對策委員一行三名の代議士は二十二日福島市方面の水がい狀況を視察中であつたが一行は二十三日相馬、双葉兩郡下の水がい狀況を視察し石城郡内の水がい狀況視察のため同日夕刻來郡、四ツ倉町に一泊、二十四日には郡内で最も被がいの甚だしかつた好間川流域の災がい地を視察する事となつた

平市議會提出議案決る

水道事業豫算追加等

平市の八月定例市議會は二十四日午後一時より市議場に於て開催される、提出議案は次の通り

一、平市歳入歳出追加更正豫算の件
二、平市職員定數條例改正の件
三、平市分課條例改正の件
四、平市公告式條例設定の件
五、平市職員恩給條例臨時特別設定の件
六、平市職員恩給條例改正の件
七、平市警察職員旅費支給條例改正の件
八、平市消防職員給與品及び貸與品條例設定の件
九、平市特別會計水道事業費歳入歳出追加更正豫算の件
十、上水道擴張事業費起債及び償還方法變更の件
十一、專決處分について承認を求めるの件

市參與會開く

平市では二十三日午後一時より市役所會議室に於て參與會（舊飯野、神谷前村議）を開催、二十四日催ほす八月定例市議會に提案する二十五年度の市歳入歳出追加更正豫算中舊飯野、神谷兩村合併に伴う追加更正の内容を市當局より説明しこれに對する參與の意見を聽取

する事となつた

市復興寶くじ消化協議會

平市では二十五日から賣り出す事になつた戰災復興寶クジの消化について二十一日午後三時より公會堂日本間に於て全市の事務囑託員及市内各地區の婦人會役員の連合協議會を開催し協議の結果、寶クジは戸數に應じて各區に割り當てこれが消化については事務囑託員が中心となり婦人會員がこれに協力する事となつた

昇格の平職安

課長級異動發令

平職業安定所では三課制から五課制のA級職安に昇格以來課長、係長級の人選を考慮、縣當局に申請中だつたがこのほど十八日付で左の通り發令された

任職業課長 平山留春
同失業保險課長 鈴木正
同調査課長 清野勝利
同勞働課長 根本清四郎
同植田分室主任 小松四郎
同庶務係長兼會計係長 渡邊廣
同紹介係長兼指導係長 鵜沼歳雄
同給付係長兼保險業務課長 矢内道夫
同勞働課監督係長 清水義雄

の各氏、なお次長は現在未決定で當分は空席

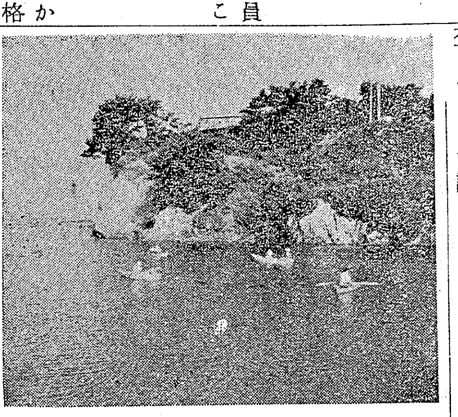
のんきな乙さん
ガンテツ作
乙サン たばこ ありませんか
あるよ すいたまい どんどん
ドン
ウヘー
すっかり いただきました
ハイ

新法廷で公判開く

石城郡勿來町大字窪田字上ノ途二九ブローカー坪井源一（三九）は二十四年末に同町小松製材所車庫から自動車タイヤー二本、時價四万円外一件から五千六百円相當を窃盜、更に本年七月二十八日同町馬上圭一と共謀、草野村豊田惣次郎店先から衣類など八十七點を窃盜した事件の公判は平簡易裁判所で吉井裁判長、中村檢事山野邊辯護人係で公判を開いた、この公判で坪井は懲役一年二ケ月、馬上は懲役十ケ月、何れも執行猶豫三年の判決言渡しがあつた

稻作狀況調査

石城地方事務所では二十五日午前十時から二十五年度産麥類供出打合せ會を開き供出補正割當並に麥類供出促進、二十五度稻作狀況調査について協議する



海上のボート

久の濱海岸大久川尻にも去り行く夏の海に名殘りを惜しむ人々で賑つてゐる、風光絶佳な河面に浮ぶボートにもゆく秋の日ざしが窺れている、清れつな淀みに集る人の影にも秋の氣配が……

埋藏炭統計調査委員會

平石炭事務所では二十二日午後一時から各炭鑛々業權者から提出された埋藏炭申告に就て埋藏炭量炭質統計調査委員會十一名が第三回平地方專門審議會を開いた

赤井村勞組のお盆手當支給

赤井村自由勞組では職安及び村當局に對しお盆手當一人二千圓を要求してゐたが村當局でも一應自由勞務者の困窮狀態を見のがせないものとし二十日から開かれた村會に提案、廿一日に一人二百円の支給を確認した

白米八俵押收

二十二日平驛午前一時二十分發上野行き列車内で平公安官と國警々官と協力、キ食の取締りを行つた結果、無主白米四十個約八俵を押取りした

「交通事故各地に瀕々」

内郷市内一時不通

トラック、電話線を切斷

二十二日午前一時ころ勿來町元縣議赤津庄兵衛さん所有のトラック運轉手線川重信（三二）は平から酒を積んで勿來に歸る途中内郷町原田地内でたんぼに轉落、その際平電話局の平―綴間のローカル線電柱に引つかゝり同線六本を切斷した、このため常磐炭鑛方面の電話は一時不通になつたが二十二日中には復舊する、なおトラックは同日午前九時ころ引上げた、積んで來た酒は無事

市内でも電柱折損

廿一日午後三時ころ市内仲町公會堂通り眞木病院側電柱に阿部康治所有のトラックが衝突、電柱を折損した制動機の故障から

助手は即死

トラック轉落

二十一日午後五時三十分ころ四ツ倉町仲町一三八漁業兼製材業長谷川長太郎（六三）さん所有運轉手三浦幸雄さんのトラックが富岡町上郡山字半谷澤地内道路を運てん中あやまつて高さ三間位の土堤からてん落、同乘の大村玉山人夫鈴木金吾（四八）さんは土堤とトラックに狹まれ即死した、運てん手は無事

傳染病各地に

赤井村大字高萩九四吉田勇氏長女靜子（四）さんは十九日疑似疫痢と判明して隔離された

×

草野村下神谷青木武義氏長男勉（一）さんは二十日疫痢と判明、隔離した

×

小名濱町大字中間坪三大工業白土光里（一六）さんは二十日疑似流行性脳脊髄膜炎と判明して隔離された

×

大野村白岩高木正子（四）さんは二十一日疫痢と判明、隔離

×

市内向鎌田似疑赤痢發生疑あり市當局では目下警戒中詳細は今明日に判明するが目下調査にあたつてゐる、警戒を要する凝似患者は現在四名である

夏井川の溺死

二十一日午後五時四十分ころ市内二丁目ょう服店齋藤光正長男光弘（九）ちやんは友達三人と夏井川平神橋下で水遊び中あやまつて深みに入り附近で畑仕事中の常磐火力發電會社勤務猪狩廣太（四二）さんが飛び込約五六分に亘り深さ七尺位のところにむぐり救助した、市内諸橋、金成兩醫師が駈けつけ應急手當を施したがすでにおそく同六時三十分死亡した

都市五ケ年計画

小名浜町から縣へ陳情

小名濱町では都市計がく事業の一環として商業地域、工場地域、住宅地域等の地割により五年計がくによつてこれに伴ふ事業を施行せんと縣都市計がく課に陳情する事になつた、この計がくによれば工場地帶は主として日本水素工場の西方海岸寄りとし港灣との連絡上運河の必要性によつて藤原河に通する運河も計がくされ、これがためにも藤原川の浚渫は尤も急を要するも

踏み倒しの書類送檢さる

山形縣生れ平市材木町木材伐採業土屋藤四郎（三八）は平市久保町一二石井正雄（三四）外二名に對し總計一千八百圓を支拂らわず逃走、平勞基署の手配により去る十八日福島市署に逮捕された旨連絡あつたので平勞基署では二十三日勞基法違反者として書類送檢

職業案内

△紡績女工　愛知縣民生紡人員三十名、締切り九月十日、年齢は二十四、五年度新制中學卒業者、但し精紡經驗者は二十八才まで可能選考試驗は九月十日行ふ健康にして勤勞意慾の旺盛な人を望む、給與は三千二百円程度、掛別

△紡績工急募　冨士紡績＝人員十名、年令は二十四、五年度新制中卒者で健康で眞面目な人を望む、給與は三千円程度、作業衣其の他は入社後貸與する、希望者は平職安え

商狀、經濟欄

【鮮魚】廿二日現在卸値（單位貫）

かつを	四五〇円
いわし	二二〇円
いか	一三〇円
まぐろ	六五〇円

市況＝入貨うすのため高價

【青果市況】丸サ市場

きうり	五五―三五円
ねぎ	九〇円
玉ねぎ	五〇―三五円
白さい一把	七―四円
大根葉	四・五〇―二・五〇
大根	五〇―三五円
馬鈴薯	五〇―三五円
ごぼう	一六〇―一〇〇円
人参	一六〇―一〇〇円

市況＝活潑

【株式市況】22日現在 磐城證券

製紙株が増資買に急騰した外資源株に買物が入り全般に確りしている、船株は利喰に一服である

鋼管	八〇	呉羽化	六〇
東洋紡	一三四	苫小牧	一九四
鐘紡	一六八	十條紙	二〇〇
日清紡	一三五	本州紙	一三二
呉羽紡	一四五	日セメ	九二
日東紡	一三四	磐城セ	一九〇
片倉	七二	小野田	一五〇
帝人	一八七	不動新	二八〇
東洋レ	一五八	陽和不	―
新光レ	二九〇	開東不	―
山バル	二八七	三越	四一八
東海上	五三三	日麥酒	四九〇
新郵船	二〇七	朝麥酒	四八五
三井船	二五三	キリン	二七四
日發	三八・五	寶酒造	一五八
三井山	五四	野田醤	四三五
日石	一〇〇	豊年油	一三三
三井造	一八二	高壓	六二
日立	三六	日産化	六九
東北バ	一九〇	日活	一五〇

民望

物議をかもした市内三十米道路名が明日の市會に諮ることになつてゐるが裏面はなんであつても廣小路と決定した以上は市會も滿場一致で審査員の顔を立てなくてはならないし、市會に諮つたしん重さがあれば名付けの親としての鈴木市長の顔もたつ譯である五十名と云ふ多數の應募者の面目もたつものとして市内各方面の意見も一致してゐることは見逃せないものがある若し市會で他に適當な町名を付けたとしても地益者たる町内民が結束して廣小路を採用し繼續的な宣傳に乘り出したならばどんな名稱を付けても無となる譯である

平市
第一回
戰災復興寶くじ
壹等……………10萬圓
殘念賞…………2千圓
貳等……………1萬圓
他六等まで
1枚30圓　8月25日賣出し
抽せん………9月26日
何卒御協力願います
平市
受託銀行 日本勸業銀行

各種印刷物、寫眞版の御注文は是非當工場へ
平市仲町
株式會社 大和田印刷所
（電話七二九番）

中元景品付大売出し
8月16日より28日まで
舊7月2日より15日まで
百圓御買上毎に福引券一枚進呈
5等まで空くじなし
1等 總桐タンス 洋服タンス 背廣三ツ組
2等 鏡台 革手提カバン 上下洋服他數點
3等 上物レーンコート 洋傘 他數點
平驛前 電話556 壽百貨店

入院隨時
產科婦人科
五十嵐醫院
五十嵐雄二
平市新川町
電話三六九番

開店一周年記念　8月15日→25日
福引大賣出し
お買上100円毎に（空くじなし）
1等（4本）自轉車・桐タンス・洋服タンス
五級スーパーナシヨナルラジオセツト
2等（10本）3等（30本）4等（1500本）外
中元贈答用多數
平市銀座
藤越
電話 265 1280 1281 1282番

災害復舊費 三千五百万建設省調査開始

災害復舊費の查定は建設省で行われるが本縣分は二十三日から三日間に亘つで行われる、平からは土木監督所大塚、堀川の兩技師が出席することになつた、なお平土木監督所管内の復舊申請箇所は縣費復舊が七十箇所、三千五百万円、町村費復舊が十二ヶ所、約八百万円となつており大体申請のほとんどが通過するものと見られる

新しい改正稅法で

市町村稅は十一種目に決る

改正地方稅法は八月一日から施行されたが市町村稅は市民稅、固定資産稅、自轉車稅、荷車稅電氣ガスぜい、鑛産稅、木材引取稅、廣告稅、入湯稅、接客人稅、犬稅の十一種目で縣稅は事業稅、特別所得稅、入場稅、遊興飲食稅、自動車稅、漁業權稅、鑛區稅、狩獵者稅の八種目で廢止された稅目は縣稅附加稅、舟稅、金庫稅、畜稅、使用人稅、都市計畫稅、餘裕住宅稅、自轉車荷車の取得稅、縣民稅、地租家屋稅、酒消費稅、船舶稅、軌道稅、電話稅、電柱稅、不動産取得稅、漁業權及自動車取得稅等で事業稅及特別所得稅は二十七年度より廢止される、その他改正稅法施行によつて從來督促狀が發しないうちは延滯金がつかなかつたのが改正稅法では督促狀が出ないでも納ぜい期限の翌日から百圓につき日歩四錢の延滯利子がつき更らに納入しないため督促狀が出れば同額の延滯金が加算される、とく別徴收による電氣ガスぜい、木材引取ぜい、入湯ぜい、入場ぜい、廣告ぜい、遊興飲食ぜい等のとく別徴收義務者が虚僞の申告をしたり脱ぜいした場合は過少しん告加算金重加算金を課せられる外重い刑罰に處せられる事になつている

社會衛生施設

市議一行視察

市議會第三部常任委員（衛生、社會課關係）木村淳、鹽庄造、柏原秀造、金成國雅市議小谷市衛生課長、千葉社會課長出席、二十一日午後三時より市內火葬場、隔離病舍、塵芥燒却場、母子寮等の衛生施設、社會施設を巡回視察した、其の結果を研究討議し諸施設改善の資料を得市豫算を大幅に獲得し諸般設備の改善を期することになつた

小中登校開始

各中小校の管入夏休も終つて廿二日より學業を開始した、第一日の昨日は宿題の提出と長い休み中の學校内外の大掃除で終り、今日からは正式な授業が始まる事になつた

職員組合役員決る

平石炭事務所職員組合では八月一日の機構改革によりくみ合員にも移動があつたゝめ二十一日三役陣の改選を行つた結果、くみ合長保安課島貫幸夫氏、副くみ合長總務課管野英郎氏、事務所ぎ術課戸塚好雄氏と決定した

白葉枯病

渡邊村に發生

過般の豪風雨に冠水並に葉をたゝかれて傷ついた處に白葉枯菌がつき郡内全般に稻白葉枯病が發生して居るが、とくに渡邊村では二十町歩に亘る發生をみて郡下に蔓延の徴候があるため、地方事務所、農業改良指導所技師は二十一日稻白葉枯病を現狀で喰い止めるため渡邊村に出張した、稻白葉枯病は農林系統の稻に多く發生しひどい所では收獲半減する恐れがあるため白葉枯病の防防のため各農家にボールト液の撒布を要望して居る

殺人未遂

犯人送檢

既報＝五ケ月も夢中で探し求めめた妻が情夫とどう棲してゐるのに逆上殺害し自分も死のうと計つた横濱市西區久保町鈴木實(四二)は十九日送檢されたが取調べの藤田檢事に

十年前子供二人あるキミ子と結婚し横濱で船のビヨウ打ちをしてゐたがさゝいの事から夫婦別れとなつた、あきらめ切れず夢中で探したがわからず去る十六日横濱に居るキミ子の子供達を訪ねて彼女が白河に居ると言ふので行つたがすでに富岡に轉居してゐると言ふのでやつて來た、やつとキミ子の居るところを探し會はうとするとキミ子が逃げ出したのでいつその事殺害して自分も死のうと決心した

と語つて居り、なお實見たつみさんあてに「夢の夜の散りて悔なき吾が命かな」の遺書二通を殘してゐた

市民稅に協力

事務囑託員會議

平市役所では二十一日午後一時より市役所會議室に於て事務囑託員の八月定例會を開催し次の事項について說明會を行つた

一、改正地方ぜい法による市ぜいについて說明

一、市民ぜい調査協力方依賴について

一、家屋調查證貼付について

一、海外抑留同胞救出國民運動福島縣平支部結成について

小名濱通信

小名濱町と江名町とは其の町是に於て漁業に依存するが如きは全く同工同曲である事を考へねばならぬ、然るに江名漁業協同組合と小名濱漁業協同組合とを比較して甚だしく見劣りのする点は江名町の組合は地味に進展を圖るの觀をもち、小名濱町組合はハデに進展を圖るが如き言はば正反對に進路を取るのでないかと云ふ觀測も決して無理でない例えば遭難船体保險の如きものも江名協同組合保險組織で一ケ月一隻一万五千圓の積立てをなし一ケ月一百万圓內外の貯金をして全船損害に對し二百万圓を支給する制度を採用し損害によつて等差をつけて支給すると云ふ制度を立てゝ居るために積立金は無事故の場合は全額積立金の拂戻しが可能である、小名濱組合にはこの組織がないために損害保險會社と契約すると同時に百万圓に對して五、六万圓の保險料を支拂はなければ保險金は遂に支給を受けられないのは生命保險や災害保險と同樣である、小名濱組合員が最近新らしき遭難の悲運に遭ひ保險料の拂込みがないために丸々損害を受けねばならない事は制度の利用を無視して居る結果でなからうか、これでは協同精神にも缺け、損害を小範圍に喰止める事が出來ないで只天を仰へて長大息するより方法がないと云ふ結果に陷へるものである、これでは漁業その物が危險に晒さる事ともなり、眞に山師的の事業として嫌遠さるゝに至るのは自明である此の危險から取り除くためには飽まで江名組合の組織化された機構にならつて一日も早く其の組織を計畫し遭難を小範圍に防止する樣全く將來を危險なからしむる以外何にも得る處ない筈である、小名濱組合員は決してヌカリのある筈はないであらうし、こんな計畫は既に已に樹立されてあるだらうが、漁種の關係で餘ゆうがない處から遂に其處に到らないのだと或は言ふであらうがそれがために遭難がないと保證するなればよいであらうが、却つて遭難事故が頻發して居る現在を考ふる時どんな表面をして協同組合保險の必要を強調して其の組織の早からむ事を從慂するものである

壽炭鑛スト突入か

内郷町壽炭礦では夏枯れからの石炭のストックが増加、更に水害から資金難に陥り從業員二百三十名の未拂賃金が二ケ月、約二百万円に及んでいるので勞働組合ではその欠陥の原因を調査して社内機構の改善を指摘して現在本社で行つて居る販賣を山元に移行すべく上京して交渉したが勞働協約は破れその上退職手當も未解決のまゝなので數回に亘る組合大會を開いた結果ストライキにかけても解決しなければならないものと更に臨時大會を開いて最後の決定を討議した

縣体育大會

高校出場選手決る

第三回縣綜合体育大會高校郡代表選衡會は廿日郡豫選終了後の午後五時より磐女高に高体連役員、豫選會役員會を開き次の選手を縣大會に派遣する事となつた

◆陸上競技△百米 古川(磐高)木村(同) 遠藤(小名濱高)鈴木(同)坂本(平工) 小野(同)△二百米古河(磐高)木村(同)才田(同)遠藤(小名濱高)△八百米 瀧(平工)星野(同)平田(磐高)東海林(同)古口(小名濱高)△四百米草野(平商)石井(平工)野崎(磐高)△千五百米 瀧(平工)古口(小名濱高)平田(磐高)△五百米鈴木(磐高) 遠藤(同)星野(内高)△百十米障碍白川(磐高)小林(同)富田(平工)△走高跳松本(磐高)石井(小名濱高)中桁(磐農)鈴木(小名濱水産)△走巾跳古川(磐高)松本(同)渡邊(工)△三段跳松本(磐高)大河原(平商)井桁(磐農)△円盤投上遠野(小名濱高)會田(磐高)鈴木(四倉高)鯨岡(同)△砲丸投 遠藤(小名濱高)大平(平工) 柳内(平商)會田(磐高)△槍投 上遠野(小名濱高)大河原(平商)山岸(磐高) 大平(平工) 鈴木(四倉高)△八百米リレー磐高、平工、小名濱高の各チーム△六十米鵜沼(磐女)西丸、大浦(小名濱高)△百米鵜沼(磐女)西丸(同)永山(同)大浦(小名濱高)△二百米鵜沼(磐女)佐藤(同)永山(同)△八十米障碍 永山詠(磐女)押田(同)△走高跳永山(磐女)押田(同)佐藤(同)△走巾跳 西丸(磐女) 佐藤(同)押田(同) 澤田(小名濱高)△砲丸投松原(磐女) 横堀(同)佐々木(同)△円盤投松原(磐女)横堀(同)佐々木(同)△四百米リレー磐女高チーム

◆卓球△男子の部 大塚、増田、高木、松本、渡邊(以上平工) 佐竹、片寄、吉田、野口(以上磐高) 熊谷(四倉高)南羽、米澤、吉田(以上小名濱高) 田仲、内山、箱崎(以上湯本高)△女子の部古市(四倉高)永瀬(磐農)水竹、會我、馬上、後田、今泉(以上小名濱高)高橋、渡邊、柴田、大井川、佐藤、鈴木(以上磐女)佐久間、川隅、鈴木(以上湯本高)

◆庭球△男子の部 根本、愛川組、小室、鴨組、木田辻組(以上磐高)菊地、廣木田、宮川、大畑組、武藤、鈴木組(以上平商)白井、小野組(小名濱水産)小松、磯上組(平工)△女子の部 大橋、田巻組、大和田、下河邊組、渡邊、名山組、中村本多組、大和田、小林組(以上磐女) 瀧口、津田組、萩生田、管野組(以上湯本校)菊地、淺田ぐみ(平商)

◆ソフトボール 磐女高チーム、平商チーム

◆籠球 △男子の部 磐高平商、湯本高、小名濱水産校△女子の部 磐女、湯本高、小名濱高

◆排球 △男子の部 磐高平商、△女子の部 平商、磐女、磐農

◆軟式野球 平工、四倉高

ならず者檢擧

植田署

植田町車田農業兼馬車輓赤津喜一(三〇)は十七日午後八時四十分頃酒をのみ岩崎村上湯長谷地内通行中平市合同タクシー管野庄司運行中の車を兩手を擴げて止め運轉手を撲り靜止するも聞かず同車のナンバーを取はずしライト及び窓ガラスを鐵ケンで壞し、時下九千円の損がいを與え同九時頃渡邊村畫野地內道路で錦町醤油製造業縣議星友太郎氏所有の小型自動車高木乙矢運轉を停止させ「俺に運轉させろ」とせまり、ことわられると運轉手と乗客高木幹一江尻一已に頭部、腹部、肩部などにそれぞれ全治一週間の傷がいを與え暴行、傷がい、器物棄損の現行犯で植田地區署に擧げられた

れき死身許判る

既報＝二十一日午前一時三十分ころ内郷町高坂太平地內常磐線上り線で發見されたれき死体は植田地區署で身元調査中のところ同町高坂字御殿無職町田忠雄(三六)と判明した、同人は窃盗罪で一年半宮城刑務所で服役、去る六月出所して來たもので常に自殺したいともらしてゐたもの

鮫川の溺死体發見

石城郡川部村字小川農神長ミツ二男昭幸(七)は去る十八日長男昭一(一六)と鮫川に魚つりに行き川を渡らうとしてあやまつておし流され兄は泳ぎついたが昭幸は行方不明となつてゐたところ二十日午前九時ころ鮫川同字地內で溺死体となつて發見された

人事ニュース

△運輸省渡邊第二港灣建設部長は廿二日小名濱、廿三日四倉とそれぞれ縣下の港灣を視察する

△上村平土木監督所長は廿一日災害復舊打合せのため出縣した

慶弔錄

婚姻 十九日好間村大字愛谷渡邊金壽(二八)氏と草野村大字下神谷字宿齋藤ちよ子(二四)さん

出生 十二日平市紺屋町佐々木明氏二女すみ子さん△十一日平市長橋町金井榮一氏長男延友さん

死亡 十三日平市堤ノ内岡田萬治郎氏二男修さん△十五日平市幕ノ内大田秀子

大衆食堂
御家族連れでどうぞ御出下さい!!
左黨の方は東京風スタンドで洋酒を召上れ！
さかえ
平驛前東角

季節の味
乾めん うゝめん 冷むぎ 素めん
…委託加工は是非當店へ…
永島製麵所
工場 平市杉野澤 電1094番 出張所 平市田町

十一屋
アイスクリーム
アイスキャンデー
平四電373

……28日まで
中元大賣出し
純綿品大特賣
白生地・洋服地・反物を豊富に取揃へてお待ちして居ります
皆様の衣料店
平市二丁目 電二五六番
かみや

小型カメラに依る近代的寫眞は
美しい自然のポーズをよくキャッチして料金も非常に廉價にサービスいたしておりますゆえ…
お寫眞の御用の節は御相談下さい
（夜間も撮影いたしております）
平四・本局前 金太郎寫眞部

料理 鯉
夏！の！味覺!!
月廼家
平市二丁目
電話三〇四番

平自慢 パンと洋菓子
BAKERY
TOKYO-DO
TAIRA TEL.1108.

中元福引大賣出し
洋傘・ワイシヤツ・洋服地
タオル・タオル寢卷・ベビー服
★夏物最後の大特價奉仕★
100圓お買上毎に福引券進呈
中元の御贈答には
是非當店の品物を
洋品のやまと
平市三丁目 電話1130番